

編入学合格Q&A

編入学年度:2026

受験大学	山梨県立	大学	人間福祉	学部	人間形成	学科		専攻 コース
本学 在籍学科	こども保育コース		学籍番号			氏名		

Q 1. 編入学を考えたのはいつからですか。また、その理由を教えてください。

私は大学受験に失敗してしまい聖母に入学したため、入学前から編入を希望していました。幼稚園教諭の免許は2種類あるため、短大では取得できない資格を編入して学びを深めながら4年制大学で取得したいと思い、編入を希望しました。

Q 2. 編入学までのプロセスを具体的に教えてください。（例：1年生の〇月に資料を取り寄せた 等）

1年生4月～➡週1で編入対策(担当の先生と進学先の相談、小論文、志望理由書の作成等)
12月➡志望校の決定
2年生前半➡大学パンフレット請求
7月➡オープンキャンパス参加
11月➡試験
12月➡合格発表

Q 3. 編入学のための学習指導は、いつからどのような形で行われましたか。（科目名、講座名も記載ください。）

1年生の4月から主に週1回1時間程度、担当の先生の研究室で行っていました。こども保育コースでは編入希望者が私一人しかいなかったため、先生とお互いの都合の良い時間帯を打ち合わせして編入対策の時間を設けていました。志望校が定まっていない時期は、余裕があればCEの編入希望者が受講している英語の授業に聴講生という形で参加していました。また、外部の先生をお招きして行われる編入希望者のための小論文・志望理由書等の講座にも参加していました。

Q 4. 編入学対策で努力したことを教えてください。具体的にいつからどのような勉強をしましたか。

編入学対策で努力したと思うことは、実習のと兼ね合いです。保育コースは在学中5回の実習があり、特に2年生になってからは受験勉強が断続的になってしまいがちでした。しかし、担当の先生の協力もあり、実習を行いながらも最後まで諦めずに勉強を続けることができました。1年生の最初の時期は、実際に私が大学入試で説いた問題で小論文を書き直したり先生から出された課題で小論文を書いたりして対策を行っていました。少しずつではありますが、自分のペースで対策を進めていました。2年生前期は、学科の先生一人ひとりにアポをとり、小論文の課題を提供、添削までの指導をして頂きました。最後の実習を終えてからは「幼稚園教育要領の要点」という本から疑問点を挙げる、疑問点を小論文の形式でまとめるを繰り返し、幼児教育の専門知識を培いながら自分の意見を文章でまとめる力をつけていきました。

Q5. 編入学対策において、教職員のアドバイスで役に立ったことを教えてください。

幼児教育の専門知識を養うにおいて「幼稚園教育要領」をもとに、環境の定義や保育者の役割を分かりやすく教えてくださったことがとても役に立ちました。幼児教育の基本を正しく理解することで、私自身の見解を広げ、実習等での経験を様々な視点から捉えられるようになったと感じています。また、先生が薦めてくれた「幼稚園教育要領の要点」は「幼稚園教育要領」が分かりやすくまとめられているため、編入学対策において大いに役に立ったと感じています。また、私は小論文の練習をするにおいて、出題者の意図の考えすぎてしまい解答の内容が浅く広くなってしまうことが多くありました。その際に、先生が「出題者の意図を考えすぎないで、自分の意見をそのまままとめるだけでいいよ」とアドバイスくださり、何をまとめれば良いか迷いすぎないで小論文を書く力をつけることができました。

Q6. 編入学対策において、桜の聖母短期大学の学びで役に立ったことを教えてください。

桜の聖母短期大学では、幼児教育・保育について実践的な学びを得られることが編入学対策においてとても役に立ちました。実習のみならず、ひろばの参加等で2年間のうちに子どもと接する機会が多く、自分の体験をもとに専門知識を養うことができたと感じています。また、実践後には先生との振り返りの時間があり、アドバイスをもらいながら自分自身の子どもの捉え方や関わり方を見直すことができたことも大いに役に立ったと感じています。4年制大学は1, 2年次に実習を行うことはほとんどないため、実習での経験は小論文、面接で自信の強みとして活かすことができたと思います。

Q7. 編入学に対する意識（モチベーション）の変化を教えてください。

①大学受験のとき

私は共通テスト利用Ⅲで聖母を受験したため、大学受験時は編入学に対するモチベーションは高かったです。志望校には落ちてしまったけれど、学びたい分野に特化した学部に進学し、さらに編入という目標も掲げながらの短大での生活が楽しみだったことが大きくあったと思います。

②桜の聖母短期大学に入学後

志望大学に不合格だったことを引きずってしまったため、入学後の編入学に対するモチベーションは少し低かったです。しかし、担当の先生が親身になって寄り添ってくれたことがとても支えになり、段々と方向性を絞りながら4年制大学に編入したいという気持ちを強く持つことができました。

③編入学試験の前

試験の1～2週間前からは、緊張と不安でいっぱいでした。指導をしてくださった先生方を信じ、これまで積み上げてきたことは間違っていないと思いながら最後の追い込みとして小論文の練習をしていました。試験直前も自信より不安が勝っていましたが、この大学で来年から学びたいという強い思いを持ち、試験に取り組みました。

④編入学試験に合格後

小論文、面接ともに自信がなかったので、その分とても嬉しかったです。また、人間形成学科は過去9年ほど編入学試験に合格者が出ていなかったのも、合格できる力を様々な方法で養ってくださった先生方、学校のバックアップに感謝しかありませんでした。

Q8. 編入学を目指す後輩にメッセージをお願いします。

在学期間を経てさらに学びを得てから社会に出たい、4年制大学で学びたい等編入を希望する理由は様々だと思います。周囲と比べてみても編入希望者は少ないため、不安や孤独を感じることもあるかと思いますが、自分の目標に向け勉強することは必ず将来に繋がると思います。また、聖母は他のどの短大よりも編入への制度が整っており、自分にあった勉強ができる最適な環境です。そのため、勉強中将来に不安を感じても、自分自身や先生方を信じ最後まで諦めずに頑張ってください！応援しています。